

希望の風 July

下関市長の部屋

帰って来んかね

ふるさと下関に

んには。市長の前田晋太郎です。下関市では昨年からの募集する「移住定住促進枠」を新たに設け、スタートしました。初めての試みでしたが、5人の募集枠に対して、予想をはるかに超え、なんと127人の応募があり、とても驚きました。チャンスがあればふるさと下関に帰りたい！下関市に魅力を感じ住んでみたい！という方がこんなにたくさんいることを大変うれしく思います！

昨年に引き続き今年も6人程度の募集を行う予定です。

全国の地方都市では都会への若者の流出が多く人口減少につながっています。下関市も同じです。都会への憧れや、地元には仕事が無いということが理由

ですが、その一方で地元の中小企業や大手企業の下関工場などからは「募集をしても人が足りない、集まらない」といった声をよく耳にします。行政としては、自らが先頭に立って採用することも必要ですが、この情報と認識のギャップをどう改善していくか、仕事に就きたい人たちにどう情報を届け、マッチングを強化するかが重要だと考えています。

都

会に出ている方には、家族、ふるさとを思い心配し、チャンスがあれば下関に帰りたい！と思っている方が多くいると思います。私も、一緒に下関市を盛り上げてくれる職員を募集し、下関市へ帰ってきてくれる方を応援します！



移住定住促進枠新規採用職員と一緒に

まち協 通信 山の田地区 まちづくり協議会

このコーナーは、各地で「住民自治によるまちづくり」に取り組む「まちづくり協議会」が作成しています。特色のある活動や取り組みなどについて紹介します。

住民主体による まちづくりをめざして

山の田地区まちづくり協議会は、平成28年6月に発足しました。当協議会は、山の田中学校区の4地区(山の田・大学町・幡生・武久)の自治連合会が中心となって組織されています。

山の田地区には、山陽本線と山陰本線の分岐点となる幡生駅があり、武久海岸沿いには国道191号線が整備され、交通の利便性が高いのが特徴です。当地区内にある生野神社には、旧市内唯一の前方後円墳の遺跡があります。神功皇后や豊臣秀吉にまつわる逸話も残る歴史の深いまちです。

また、市内唯一の公立大学があります。夏休みには大学生の指導

で「算数大作戦」を行い、小学5年生に「心に響く算数の学習を体験してもらっています。若者たちを中心に、地域の人たちも積極的に勉強に励んでいます。



算数大作戦の講義

6部会の部会活動

★総務部会

広報紙「四つ葉のたより」を年4回発行するほか、ホームページ作成・更新、会組織の全体調整など。

★環境部会

小・中学生と住民が一斉に清掃する「グリーン大作戦」のほか、ごみステーション改善のため、鳥獣被害防止ごみ箱の作成を指導し、34カ所に設置。



ごみ箱作成の様子

★安全・安心部会

ハザードマップ作成に向け、避難場所や避難経路の検討と確認作業を全地区で実施。防犯講習会、悪質詐欺被害防止講習会開催の継続や、幡生駅周辺駐輪場の点検と注意喚起など安全・安心の輪を広

げている。

★健康福祉部会

認知症対策講座、高齢者への声掛け模擬訓練を実施。各種スポーツレクリエーションの開催など活力あるまちづくりの一翼を担う。

★青少年育成部会

「地域連携のかけはし」をスローガンに、小・中・大学の行事を掲載した「にじいろネット行事予定カレンダー」を作成し、配布地区の情報を周知、各家庭に呼び掛け門灯を点灯してもらう自主防犯活動「キラキラ運動」や、多世代ふれあい交流など積極的な地区内交流を推進。



にじいろカレンダー

★産業・文化部会

郷土愛を育むまちづくりに役立つため、地区内の歴史を深く知る講座を開催。地元企業の見学会を行い、活力あるまちづくりに一緒に取り組む計画。

【協議会情報】

○山の田地区まちづくり協議会
(山の田中学校エリア)

△会長 村尾 寛 △事務所
山の田東町4番13号北部公民館

2階 ☎0850-769555 △ホー

ムページ http://yotuba2017.

sakurane.jp